

子どもの心診療 支援拠点病院事業 2008

 東京都

事業の概要

- 実施主体 東京都福祉保健局
- 拠点病院 東京都立梅ヶ丘病院

- 事業開始 平成20年7月1日
- 事業費 13,950千円



主な実施概要

(1) 小児精神科治療連絡会

- * 3回
- * 42名（平均）出席・延72機関参加
- * 子ども家庭支援センター、薬物療法、少年院における矯正医療などテーマ設定型講義・意見交換

【効果】

- 都内外の人的ネットワークの形成と医療機関ネットワークの相互作用
- 多角的視点から小児精神医療を展開



H20年度小児精神科治療連絡会

	日時	場所	テーマ	機関	参加人数
1回	20. 7. 11	梅ヶ丘病院	世田谷区「4.6歳児発達・発育相談」 機関紹介(東大「こころの発達」診療部)	21	42
2回	20. 12. 11	パークホール	梅ヶ丘「児童精神科薬物療法」 機関紹介(東部療育センター)	28	46
3回	21. 3. 6.	新宿モリス	神奈川少年院「少年非行の現状と少年院における矯正医療」 機関紹介(埼玉医大かわごえクリニック)	23	36

参加機関の種別

		第1回	第2回	第3回
大学病院	精神科	1	3	4
	小児科	0	3	1
	計	1	6	5
精神科クリニック *		10	7	6
精神科病院		2	3	2
療育施設		5	6	4
公的相談機関		1	3	2
行政機関		2	2	2
その他		0	1	2
計		21	28	23

参加職種

	第1回	第2回	第3回
医師	19	20	14
心理	9	6	7
ソーシャルワーカー	3	8	4
看護師	2	1	2
支援員	4	3	2
教員	1	1	1
事務	4	6	5
その他	0	2	1
計	42	47	36

主な実施概要

(2) 児童青年期臨床精神医療講座

- * 8回（うち6回を本事業で実施）
- * 52名登録・30機関参加
- * 医師に対する児童青年期の精神医療についての専門研修

【効果】

- 子どもの心診療医養成の後方支援
- 医師会からも出席、都内全体での小児精神医療への取組の機運醸成



医療関係者向けプログラム

1回目	児童青年精神医療総論	Dr
2回目	① 乳幼児の認知・発達について ② 小児の精神疾患と生理学的諸検査	Dr Dr
3回目	① 児童青年期の心に環境が及ぼす影響 ② 児童青年期の心と環境—家族・学校・友人等	分教室 教員 Dr
4回目	医療機関と児童相談所との連携 —子ども虐待への対応を中心に—	Dr
5回目	① 広汎性発達障害・発達障害の広がり ② 療育プログラム —ショートケアを中心に—	Dr 保育士
6回目	① 精神病圏の疾患 ② 神経症性障害・摂食障害	Dr Dr
7回目	① ADHD・行為障害・ADHD・行為障害・学習障害 ② 幼児・学童期男女混合閉鎖病棟	Dr 看護師
8回目	① 児童青年期における薬物病理 ② 心理テストと各種心理療法的アプローチ	

医師関係者向け講座参加者

申込者		参加機関	
医師	37名	総合病院小児科	13機関
心理士	7名	小児科クリニック	7機関
看護師	2名	精神科病院	2機関
精神保健福祉士	3名	療育施設	3機関
大学院生	1名	福祉センター	1機関
作業療法士	1名	児童相談所医師	1機関
大学準教授	1名	精神科クリニック	3機関
合計	52名	合計	30機関

主な実施概要 (3) 関係機関向けセミナー

- * 1回
- * 711名出席（関係者19名）
- * 広汎性発達障害の社会適応支援について

【効果】

- 従来から、福祉保健医療の関係者向けに行っていた「梅ヶ丘セミナー」（通称「梅セミ」）を、本事業に合わせて再構築
- 記録媒体の作成・普及啓発が可能に



2008年12月10日 梅セミ 参加者数

	参加者数
1 区部小学校	144
2 区部中学校	88
3 市部小学校	104
4 市部中学校	66
5 特別支援学校	20
6 高等学校	16
7 児童相談所	13
8 子ども家庭支援センター	33
9 教育相談・教育センター	65
10 保健所・保健センター	24
11 精神保健福祉センター	5
12 少年センター	3
13 行政機関	26
14 児童福祉施設・社会福祉施設	75
15 分教室	7
16 都立病院・病院経営本部・福祉保健局	13
17 院内	6
18 看護学生など	3
合計	711

主な実施概要

(4) 教職員向けセミナー

- * 2日制・1回 対象：保育士・幼稚園教諭・小学校教諭
- * 43名出席
- * 「子どもの心の医療」をテーマに研修

【効果】

- 対象者が参加しやすい夏休みに実施
- 座学に加え、課題設定を行うことで、連携と解決力の向上が図れた。



教員向け夏季セミナープログラム

1日目		講師
子どもの精神疾患	総論	Dr
いじめ・からかい・虐待		Dr
メンタルヘルスの問題を持つ幼児、学童への対応		Ns
家族への対応		Dr
2日目		
気がかりな子どもへの対応		心理
発達障害児のショートケア		保育士
ネットワークを活用する		PSW

教員向け夏季セミナー参加者

職種	参加申し込み数
教員	14名
養護教諭	9名
特別支援コーディネーター	2名
特別支援学校看護師	5名
学童クラブ指導員	2名
特別支援学級補助員	3名
教育相談員	1名
幼稚園・保育園 保育士	5名
その他	2名
合計	43名

主な実施概要

(5) 都民フォーラム

- * 1回
- * 708名出席（うち都民624名 関係者84名）
- * 「現代の子どもが抱える心の問題 発達障害を中心に」をテーマに、医療・福祉・教育の立場から講義・シンポ

【効果】

- 都民の発達障害への関心・ニーズの高さを実感。今後の事業展開に。
- 都民の質問・疑問事項の把握



現時点での評価

- ① 本事業を契機に、医師向け研修や都民向けフォーラムなど新たな地域支援に係る取組に着手することができた。
- ② 「子どもの心」への取組を、「拠点病院」と具体化したことで、青少年対策など、多分野との連携の契機とすることができた。
- ③ 実施主体と拠点病院を分化、予算要求・プレス対応等の事務実務と、研修・講座等の事業実施を効率的に実施できた。



今後の課題

- ① モデル事業中間点としての2年目、終了年としての3年目と、将来像を見据えた実施内容の精査
- ② 事業の評価に向けての指標設定
- ③ 府中キャンパスへの移転と並行しての円滑な事業運営



21年度の実施予定

- ・ 小児精神科治療連絡会:2回
- ・ 医師向け研修会:8回(予定)
- ・ 関係機関向け研修会(梅ヶ丘セミナー):2回
- ・ 教職員向け研修会:2回
- ・ 都民フォーラム:1回
- ・ 施設職員向け研修会:1回